

第3報 胴部ダーツについて

奈良女大家政 ○小松由紀

福山市立女短大

増田茅子

目的 第1報の製図法に一部修正を加えて製作したベイシック形ドレスの着用実験結果からえたパターンの胴部ダーツ分量と人体体型要因との関係を考察したのでこれを報告する。

方法 被験者, 人体計測, ベイシック形ドレスの着用実験は第2報と同様であるが, 人体体型観察の一項目としてとくに人体側面写真より図のような人体計測寸法Aを求めた。型紙胴部ダーツ分量と人体計測寸法との相関を求めの考察を行なった。

結果

(1) 前胴部ウエストラインダーツ分量は, 第1報の製図法が有効であり胸部横矢示数との間に高い相関がみられた。

(2) 後胴部ウエストラインダーツ分量は, 単独の人体計測寸法とは高い相関は認められなかつたが, 肩胛骨最突出点を通る鉛直線の位置での胴囲線の展開, 胸部横径と胴部横径の差, さらに肩胛骨の形状を示すと考えられる値と高い相関が認められた。

(3) 胴部各ダーツ分量の比について考察した結果, 前後胴部ウエストラインダーツ幅の比は, $(\text{胸部横径} - \text{胴部横径}) / 2$ と写真計測寸法Aとの間に高い相関が認められた。

